



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年11月7日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 九州から宇宙へ 研究者師弟の挑戦

7日(日)＝1面、3面

迫る



福岡市に本社を置く民間ベンチャー「QPS研究所」が人工衛星の開発を進めています。カメラなどを搭載する光学衛星とは違い、曇りや夜間でもリアルタイムでの撮影を可能にする優れた性能が

特徴です。開発の中心になっているのが、79歳の九州大名誉教授と、35歳の最高経営責任者。祖父と孫ほど年が離れた師弟が小さな会社の事務所で始めた衛星の開発は実を結ぼうとしています。

また、ヒト、モノ、カネといった資源が東京に集中している現状に疑問を持ち、「九州から宇宙へ」を合言葉にして開発を続けてきました。奮闘する師弟たちの姿に迫ります。

## 特集 ワイド

## 「海獣」の世界 8日(月)＝夕刊特集ワイド



地球上で最も大きな動物はクジラです。国立科学博物館の田島木綿子・脊椎(せきつい)動物研究グループ研究主幹(50)＝円内＝はクジラをはじめとする海の哺乳類、いわゆる海獣を研究しています。海獣にはクジラのほかイルカやシャチ、

アシカやアザラシ、さらには海に依存して生きるホッキョクグマなども入るそうです。ただ、研究の中心はクジラです。その驚きの研究現場やクジラから見てくる環境問題について聞いてみました。



## 原発と新型コロナ

## 原発事故とコロナ 弱者を陥れる共通点

10日(水)＝くらしナビ面

昨年から続いている新型コロナウイルス感染症の流行は、人々のつながりを断ち、多くの健康被害を引き起こしています。福島県立医大の坪倉正治主任教授Ⅱ写真Ⅱは、2011年3月の東京電力福島第1原発事故でも同じよう

な健康被害が生じたと指摘しています。原発事故後、福島県で地域医療の支援を続けてきた坪倉主任教授に、その真意を2週連続で尋ねました。

## 論点 経済安保と先端科学

10日(水)＝オピニオン面

米中対立の激化を背景に、軍事転用可能な技術の流出防止、希少資源や重要物資の輸出管理といった、中国を意識した「経済安全保障」の取り組みが日本にも求められるようになってきました。特に最先端の科学は軍事技術

と表裏一体の間柄にあり、その影響は研究現場にも及んできています。日本政府は、研究者は、この問題とどう向き合うべきでしょうか。専門家ら3人のインタビューから考えます。



毎日新聞

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年



竹橋の窓辺から

編集後記



「スポーツの秋」もついでに、この陽気が続いていいますね。今月28日には、社会人野球の日、「第92回都市対抗野球大会」(毎日新聞主催)が開幕します。「今年も楽しい試合です。」と、今年も「都市対抗野球大会」を100倍楽しむ方法をぜひお伝えさせていただきます！  
(山本有紀)